

繊維製品の環境配慮設計 取り組み状況を調査しました

日本政府は繊維製品における環境配慮設計を促進するため、2024年3月に環境配慮設計ガイドラインにて事業者が取り組むべき設計項目の11項目を策定しました。

政府はターゲットイヤーの**2030年**に繊維製品の環境配慮設計の**普及率80%**を掲げています。

この度BOKENでは、2025年1月30日～31日（大阪）、2月5日～7日（東京）で開催したBOKEN展示会リアル開催にて「繊維製品の環境配慮設計に関する取り組み状況アンケート」を実施しました。

◆ 取り組むべき環境配慮設計11項目とその目的

環境負荷の少ない 原材料の使用

- ・ リサイクル素材/植物由来の使用
- ・ 環境負荷の少ない原材料使用をHP等で公表など



GHG排出抑制 省エネルギー

- ・ 生産に伴うGHG(温室効果ガス)排出量の算出と低減策の実施
- ・ 省エネ設備の導入など



安全性への配慮

- ・ 有害な化学物質(発がん性物質など)を使用していないか確認
- ・ 子供服の安全性(JIS L 4129)に基づく製品設計など



水資源への配慮

- ・ 水の使用量と削減量の把握/管理
- ・ 排水設備導入による水質保全、循環利用など



廃棄物の抑制

- ・ 生産工程における廃材発生を抑える取り組みを実施
- ・ 残繊維を包装材/緩衝材として活用など



包装材の抑制

- ・ 不要な包装材の削減や梱包材の簡素化
- ・ 包装材にリサイクル原料を使用など



繊維くずの発生抑制

- ・ 繊維くずの発生が少ない製品の企画/開発
- ・ 洗濯時に流出する繊維くずを抑制する洗濯ネットの開発など



長期使用

- ・ 耐久性に優れた製品設計
- ・ 体形変化に対応出来る製品の企画など



リペア・リユース サービスの活用

- ・ 製品の修理、リユースの促進
- ・ 消費者への周知による衣類回収の活性化など



易リサイクル設計

- ・ 単一素材/パーツ数の減少によるリサイクルしやすい製品設計
- ・ 容易にリサイクル出来る製品であることを消費者に周知するなど



繊維製品のリサイクル

- ・ 繊維くずや使用済み衣料の再資源化
- ・ リサイクル資源のトレーサビリティ確認など



対応できる項目から
順次取り組みを
始めましょう！



▶▶▶ 次ページで動向調査結果発表！

動向調査結果

BOKEN展示会リアル開催の大阪・東京会場で行った環境配慮設計に関するミニセミナーにてご協力いただいた「繊維製品の環境配慮設計に関する取り組み状況アンケート」の結果をランキングにまとめました。回答いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

アンケート回答者数404名（大阪161名/東京243名）

環境配慮設計として
取り組んでいる項目

 1	環境負荷の少ない 原材料の使用	165票
 2	安全性への配慮	131票
 3	繊維製品のリサイクル	101票
 4	包装材の抑制	97票
 5	廃棄物の抑制	87票
	取り組んでいない	77票

ランキング上位2項目は東京大阪とも同じ。
3位以降では、東京はリサイクルと包装材抑制、大阪は廃棄物抑制と包装材抑制の取り組みが進んでいる。

環境配慮設計として
取り組みを検討している項目

 1	環境負荷の少ない 原材料の使用	61票
 2	安全性への配慮	41票
 3	繊維製品のリサイクル	39票
 4	廃棄物の抑制	38票
 5	長期使用	35票
	今のところ予定はない	81票

既に取り組みが進む項目とほぼ同じだが、
長期使用が5位にランクイン。
製品製造時の環境配慮に加え、製品の寿命
を延ばす取り組みが進みそうです。

BOKENでは製品仕様の改良アドバイスやLCA算出、製品の耐久性評価など、様々なサポート業務で取り組みを後押しします。お悩みの際は、ぜひお声がけください。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

品質支援事業本部

東京 03-6864-8730
大阪 06-6577-0209

